

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成29年度)

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ②ライフ・イノベーション分野(1/11)

	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
ふじのくに先端医療総合特区 (静岡県)	4.2	4.3 <u>進捗度</u> ・がん診断装置・診断薬の開発 100% ・その他医療関連製品の開発 120% ・医療機器生産金額(県内) 67%	3.9 <u>規制の特例等</u> ・国内品質業務運営責任者の資格要件について等 <u>財政支援等</u> ・次世代診断技術開発推進事業 ・医療機器等開発・参入支援事業等 <u>地域独自の取組</u> ・沼津高専専攻科「医療福祉機器開発工学コース」の開設等	4.2	<ul style="list-style-type: none"> ・がんゲノム研究のためのビッグデータの蓄積、ファルマバレーセンターによる支援、規制緩和を活用した医療健康産業の人材育成、医療機器製造販売への新規企業の参入等、全般にわたって取組が着実に進展し、成果を生み出していることは評価できる。 ・中核支援機関の機能評価が図られている点が評価できる。今後も、新法人であるふじのくに医療城下町推進機構を中心に、県全体の企業連携や、国内外との医療・研究機関連携を進めていくことが望まれる。 ・実現に至った「国内品質業務運営責任者の資格要件」の緩和に係る提案を行ったことは、高く評価できる。 ・今後は、評価指標(3)医療機器生産金額(代替指標:薬事工業生産動態統計)の目標値達成が望まれる。 ・「既存企業の規模拡大」や「国内外からの企業立地の推進」に関するより細やかな評価指標があっても良い。